臭化プロパンテリン錠

Propantheline Bromide Tablets

溶出試験 本品 1 個をとり,試験液に pH4.0 の 0.05 mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩 衝液 900 mL を用い,溶出試験法第 2 法により,毎分 50 回転で試験を行う.溶出 試験を開始し,規定時間後,溶出液 20 mL 以上をとり,孔径 $0.45 \mu \text{m}$ 以下のメンブランフィルターでろ過する.初めのろ液 10 mL を除き,次のろ液 V mL を正確に量り,表示量に従い 1 mL 中に臭化プロパンテリン $(C_{23}H_{30}BrNO_3)$ 約 $17 \mu g$ を含む液となるように pH4.0 の 0.05 mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に V' mL とし,試料溶液とする.別に臭化プロパンテリン標準品を 105 で 4 時間乾燥し,その約 0.017g を精密に量り,pH4.0 の 0.05 mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液に溶かし,正確に 100 mL とする.この液 5 mL を正確に量り,pH4.0 の 0.05 mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液に溶かし,正確に 100 mL とする.この液 5 mL を正確に量り,pH4.0 の 0.05 mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液におり、水水のの 0.05 mol/L で 0.05 mol/L を下酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 0.05 mol/L を正確に量り,pH4.0 の 0.05 mol/L を下酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 0.05 mol/L を正確に量り,pH4.0 の 0.05 mol/L を下酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 0.05 mol/L を正確に量り,pH4.0 の 0.05 mol/L を下酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 0.05 mol/L を正確に量り,pH4.0 の 0.05 mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 0.05 mol/L を正確に量り,pH4.0 の 0.05 mol/L を下酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 0.05 mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 0.05 mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液とする.試料溶液及び標準溶液につき,紫外可視吸光度測定法により試験を行い,波長 0.05 mol/L における吸光度 0.05 mol/L を正確に 0.05 mol/L を正確に 0.05 mol/L を正確に 0.05 mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液とする. に対し、0.05 mol/L 酢酸・酢酸・酢酸・酢酸・酢酸・肉脂素を含まる. に対し、0.05 mol/L 酢酸・酢酸・肉脂素を含まる. に対し、0.05 mol/L 酢酸・肉脂素を含まる. に対し、0.05 mol/L 酢酸・酢酸・肉素を含まる. に対し、0.05 mol/L 酢酸・肉素を含まる. に対し、0.05 mol/L 酢酸・肉素を含まる. に対し、0.05 mol/L の 0.05 mol/L

本品が溶出規格を満たすときは適合とする.

臭化プロパンテリン(C₂₃H₃₀BrNO₃)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_{\rm S} \times \frac{A_{\rm T}}{A_{\rm S}} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 90$$

 $W_{\rm S}$: 臭化プロパンテリン標準品の量(mg)

C:1錠中の臭化プロパンテリン($C_{23}H_{30}BrNO_{3}$)の表示量(mg)

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
15mg	45 分	85%以上

臭化プロパンテリン標準品 臭化プロパンテリン(日局). ただし, 乾燥したものを 定量するとき, 臭化プロパンテリン($C_{23}H_{30}BrNO_{3}$)99.0 % 以上を含むもの.

酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液,0.05mol/L,pH4.0 酢酸(100)3.0g に水を加えて 1000mL とした液に,酢酸ナトリウム三水和物 3.4g を水に溶かして 500mL とした液を加え,pH4.0 に調整する.